

令和7年度 公益財団法人鹿児島観光コンベンション協会事業計画

I 事業運営方針

観光需要の急速な回復が進む一方で、都市部におけるインバウンドの集中など、オーバーツーリズムの抑制や地方誘客の促進が課題となっております。

このような中、令和7年度、当協会はDMOとして、事業運営におきましては、DMO経営企画会議やワーキンググループといった推進体制の下、観光関連データの収集分析をさらに強化し、地域全体で共有するとともに、データを活用した国内外からの誘客に繋がるプロモーションの展開や体験型観光メニューの充実など効果的な諸施策を実施してまいります。また大阪・関西万博に合わせた誘客や西郷隆盛生誕200年・没後150年を見据えたプロジェクトに取り組んでまいります。

さらに、MICEの誘致に向けて、ステークホルダー等と連携しながら国内外での誘致活動や商談会への出展を実施し、鹿児島開催の促進に取り組んでまいります。

また、市民や事業者へ観光の意義・効果やDMOの活動について広く周知するほか、財源確保に向けた行動計画など経営基盤の強化にも取り組み、運営基盤の確立に努めます。

【公益目的事業】

DMO関連

「観光客誘致事業」では、宿泊及び検索行動等の観光関連データの収集分析をさらに強化し、そのデータの一元化や可視化を図るほか、観光CRMアプリを活用するなど、戦略的な地域マネジメント・マーケティングに取り組んでまいります。また、東アジア市場向けに、データを活用したプロモーションを展開するとともに、令和9年度の西郷隆盛生誕200年・没後150年を見据えた機運醸成・誘客等に向け、実行委員会において民間主体の取組を進めるなど、鹿児島ファン拡大に向けたプロモーションを推進するほか、大阪・関西万博を契機とした誘客を広域で連携して取り組んでまいります。

「観光客受入事業」では、インバウンドの誘客に向け体験型観光メニューの充実や、観光庁の「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり」事業に多様な関係者と取り組んでまいります。

「コンベンション誘致支援事業」では、地元ホテル・旅行会社等観光事業者と連携した県外誘致セールスを展開するほか、MICE商談会への出展や東アジアをターゲットとした誘致セールス、国内外のインセンティブツアーの誘致に取り組んでまいります。また、新たに、連携中枢都市圏におけるテクニカルプログラムを作成するほか、MICE参加者や主催者へのアンケート回収を強化し、その結果を分析することで効果的なMICE誘致・受入を推進してまいります。

「運営基盤の確立」では、「安定的な財源確保に向けた行動計画」に基づき、段階的に会計区分の導入に取り組むほか、DMO事業報告会・セミナーを開催し、観光の意義・効果やDMOの役割等の理解促進を図るとともに、DMO職員の人材育成に力を入れるなど、基盤強化を推進してまいります。

DMO関連以外

「施設の管理運営等」では、「維新ふるさと館」において、創作歴史芝居等のイベントや各種歴史講座等を開催するなど、観光客等の利用促進を図ってまいります。また、鹿児島中央駅や天文館、桜島など市内要所5か所にある観光案内所を運営し、観光客等の利便性向上を図るほか、ボランティアガイドと巡るぶらりまち歩きを実施し、ガイドならではの目線で観光名所を案内してまいります。

【法人会計】

「その他事業」では、引き続き理事会、評議員会、専門委員会等の開催や、関係団体との連携により円滑な事業運営を図ってまいります。

Ⅱ 事業計画の概要

【公益目的事業】

DMO関連

1 観光客誘致事業

1-1 稼ぐ体制・仕組づくり

(1) 地域マネジメントの体制構築

①多様な関係者と連携した推進体制の構築

- ・DMO経営企画会議の開催

DMO戦略の推進、経営（行政との役割分担、会計等）の協議など

- ・ワーキンググループの開催

施策及び実施手法の検討など

②関係者が実施する観光関連事業と戦略等の整合性に関する調整

- ・マーケティングデータ（マーケティングレポート）の配信【拡充】

戦略的なマーケティングの強化のため、宿泊及び検索行動等の観光関連データの一元化・可視化を行う。

- ・観光CRMアプリ加盟店等へのデータに基づく支援

③行政（観光庁・県・市）や他のDMO等との連携

- ・インバウンド誘客等に向けた観光庁やJNTO（日本政府観光局）、九州観光機構等との連携強化【拡充】

DMO全国会議（観光庁主催）、DMO九州連携会議（九州観光機構主催）等への出席等

- ・県観光連盟が運営する「かごしまの旅」との情報掲載連携

- ・九州主要都市観光協会連絡協議会での情報交換

- ・鹿児島県10市観光協会情報交換会の開催

(2) 地域マーケティングの仕組づくり

①統計データ・観光客データの収集、分析、共有

- ・宿泊及び検索行動等の観光関連データの収集分析【拡充】

- ・鹿児島市観光消費額調査の実施

②観光CRMアプリ等によるニーズ把握、分析、共有

- ・観光CRMアプリ推進事業【拡充】

観光CRMアプリを活用した地域マーケティングに取り組む。

ア 利用促進キャンペーン等の実施

イ デジタルスタンプカード等を活用したデータ収集分析の強化【拡充】

ウ 旅マエ旅ナカふるさと納税の実施【新規】

- ・かごしま市観光ナビのデータの活用

(3) 持続可能な観光地づくり

①SDGsに資する観光地づくりの取組推進

- ・サステナブルツーリズムの促進

1-2 誘客促進

(1) 戦略的なプロモーションの展開

①データを活用した国内外からの誘客に繋がるプロモーションの展開

- ・かごしま市観光ナビの運用【拡充】

- ・SNS（国内）の運用

- ・SNS（香港・台湾市場向け）の運用【拡充】＜インバウンド関連＞
- ・メディアプロモーション事業
 - WEBを中心に各種メディアを活用した観光プロモーションに取り組む。
- ②鹿児島ファン拡大に向けたプロモーションの推進
 - ・西郷隆盛生誕200年・没後150年記念プロジェクト
 - 西郷隆盛生誕200年・没後150年（令和9年度）を見据えた機運醸成・誘客等に向け、プロジェクトチーム（実行委員会）を開催し民間主体による取組等を推進する。
 - ・都市間まつり交流（大垣市）
 - ・かごしま錦江湾サマーナイト大花火大会をフックとした誘客
- ③西のゴールデンルートアライアンスにおける情報発信【新規】＜インバウンド関連＞
 - ・大阪・関西万博を契機としたインバウンド誘客に向け、当協会が参加する「西のゴールデンルートアライアンス」において、広域連携による情報発信を実施する。
- (2) 観光クルーズ船の誘致・受入＜インバウンド関連＞
 - ①県・市・関係団体等と連携した観光クルーズ船の誘致・受入
 - ・鹿児島海外観光客受入協議会でのクルーズ客船受入、観光案内の充実

2 観光客受入事業

2-1 魅力あるコンテンツ開発

(1) キャッシュポイント（商品）づくり、高付加価値化・差別化

- ①多様な関係者による観光商品・サービスづくり、高付加価値化・差別化
 - ・観光庁「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり」（雲仙・阿蘇・鹿児島エリア）による観光地づくり
 - ・協会オリジナルグッズの作成
- ②体験型観光メニューの充実等
 - ・インバウンド向けコンテンツ魅力・販売力強化事業＜インバウンド関連＞
 - インバウンド誘客に向け、体験型観光メニューの魅力向上や販売力強化の支援等に取り組む。

2-2 受入体制の充実

(1) 国内外の観光客の受入・案内機能の充実

- ①多言語化などインバウンド対応の充実＜インバウンド関連＞
 - ・市と連携した観光案内板等の充実
- ②観光案内機能の充実
 - ・観光ガイドマップの制作
 - ・おはら祭での観光案内
 - ・鹿児島マラソンでの観光案内
 - ・電光掲示板の運営管理
- ③受入環境整備に関する地域の取組の調整・支援
 - ・2次交通の利便性向上に向けた調整
- ④災害など非常時における観光客への情報発信
 - ・かごしま市観光ナビの運用（再掲）

2-3 観光による波及効果の拡大（広義の観光）

(1) 地域経済循環の向上

①地消地産の促進

- ・観光関連事業者等に対する地消地産の促進
- ・地消地産の促進に取り組む事業者の情報発信

②マイクロツーリズムの促進

- ・観光CRMアプリ推進事業（再掲）

(2) 旅アトの消費機会の創出

①旅アトの観光客への情報発信

- ・観光CRMアプリ推進事業（再掲）

3 コンベンション誘致支援事業

3-1 MICE誘致

(1) MICE誘致事業

①重点分野のターゲット設定による戦略的な誘致活動の展開

- ・ステークホルダーと連携した誘致活動
地元ホテル・旅行会社等観光事業者と連携した県外誘致セールスの展開
- ・国内誘致活動
大都市圏等大会事務局（東京・大阪・福岡）及び地元大会事務局（鹿児島大学を中心）へのセールス
対象：県内外の学会事務局などMICE主催者・旅行会社・PCO
- ・MICE商談会出展
ア Visit Japan Travel & MICE Mart（東京）
イ 国際MICEエキスポ（東京）
ウ Japan MICE EXPO 2025（大阪）
- ・海外誘致活動
JNTO主催のインセンティブ旅行商談会に参加（東アジア）
- ・MICE推進団体との連携
ア 7都市（旭川市、秋田市、前橋市、岐阜市、姫路市、松山市、鹿児島市）情報交換会および情報懇談会
イ JCCB（日本コンgres・コンベンション・ビューロー）総会及びコンベンションビューロー部会
ウ 九州・沖縄地区MICE推進団体連絡会
エ 5都市会議（盛岡市・金沢市・静岡市・高松市・鹿児島市）
- ・MICE開催予定調査及びイベント・コンベンションカレンダーの作成
- ・インセンティブツアー誘致活動【拡充】
国内主要旅行会社及びインバウンド取扱旅行会社へのセールス強化
補助金の交付対象に旅行会社を追加

(2) MICE受入事業

①地域資源のMICE活用促進による来訪者消費単価の向上

- ・テーマ別座談会の開催
- ・プログラムモニターツアーの実施
- ・おもてなしサービス券の作成
- ・連携中枢都市圏（鹿児島市、日置市、いちき串木野市、姶良市）におけるテクニカルプログラムの作成【新規】

- ②社会変動等に対応できる強靱なM I C E 基盤の構築
 - ・ M I C E 開催補助金
 - ・ シャトルバス等サポート助成金
 - ・ オンライン会議システムを活用したセールスの実施
 - ・ M I C E 参加者、主催者アンケート回収の強化【拡充】
 - ・ アンケート分析による効果的なM I C E 誘致、受入事業の推進【新規】
- ③機動力と柔軟性のある推進体制の整備
 - ・ 産官学連携プロジェクト
 - ・ メディア及びSNS活用による情報発信【拡充】
 - ・ M I C E ロゴマーク作成と活用【新規】

4 運営基盤の確立

4－1 基盤強化プロジェクト

(1) 観光の意義・効果、DMOの役割等の理解促進

- ①観光の意義・効果、DMOの役割等の啓発
 - ・ DMO事業報告会・セミナーの開催
 - ・ 「鹿児島島の観光とコンベンション推進の集い」の開催
 - ・ 観光の意義・効果等の理解促進を図る機関紙の発行

(2) DMOの経営基盤の強化

- ①安定的な財源確保
 - ・ 安定的な財源確保に向けた行動計画の推進
DMO戦略の取組に必要な財源確保に向け、行動計画を推進する。
- ②求められる職員像の整理や人事評価制度の導入によるDMOの人材育成
 - ・ 人事評価制度の運用
職員の能力や資質の向上を図るため、人事評価制度を運用する。
 - ・ DMO職員人材育成【新規】
DMO職員のスキル向上を図るため、オンライン研修を受講する。

(3) 観光分野のデジタル化の推進

- ①横断的なデジタル化の推進
 - ・ ワーキンググループの開催（再掲）
 - ・ 鹿児島ぶらりまち歩きにおけるO T Aの活用
O T Aを活用し、鹿児島ぶらりまち歩きの参加促進に取り組む。
 - ・ かごしま市観光ナビの運用（再掲）
 - ・ 観光C R Mアプリ推進事業（再掲）※デジタルキュートの販売
 - ・ インバウンド向けコンテンツ魅力・販売力強化事業（再掲）

DMO関連以外

5 施設の管理運営等

(1) 維新ふるさと館管理運営事業（鹿児島市から受託）

① 維新ふるさと館の管理

- ・ 管理運営

② 利用促進イベント・各種歴史講座等の開催

- ・ 館内イベントの開催（一日だけの維新ふるさと館カフェ等）
- ・ 創作歴史芝居（維新演劇シアター）
- ・ 折り紙あそび等体験会
- ・ 歴史シンポジウム
- ・ 西郷隆盛を偲ぶ書道展
- ・ 歴史解説員による史跡めぐりバスツアー
- ・ 歴史解説員等による館内ギャラリーガイド（毎週土日）
- ・ 歴史講座の開催（年3回）
- ・ 観光ボランティアガイドとのコラボ事業

(2) 観光案内所管理運営事業（鹿児島市から受託）

市内5か所の観光案内所において観光案内及び観光情報の提供、乗車券等の販売を行い、観光客等の利便性の向上を図る。

- ・ 鹿児島中央駅総合観光案内所
- ・ 鹿児島中央駅東口駅前広場観光案内所
- ・ 観光交流センター
- ・ 鹿児島市観光案内所（天文館）
- ・ 桜島観光案内所

(3) 観光ボランティアガイドの活用（鹿児島まち歩き観光ステーション）

- ・ 鹿児島ぶらりまち歩き事業
- ・ まち歩きガイドコースの検討
- ・ 県内外のまち歩きガイド参加の利用促進セールス
- ・ 定点ガイドの活用
- ・ 鹿児島ぶらりまち歩きにおけるO T Aの活用（再掲）

【法人会計】

6 その他事業

理事会、評議員会、専門委員会等を開催し、事業展開に反映させるとともに、関係団体と連携を図り、円滑な事業運営を行う。